

今回も元気な活動を大追跡！
田中やすのりおっかけ新聞

田中やすのり 区議会レポート

www.tanaka-yasunori.jp

2009年6月発行

Vol.7



2009
6/2
ON LIVE

第二定例議会において 一般質問を実施！

板橋区役所/本会議

今回の一般質問は、主に「CO₂削減に向けての環境対策」をテーマに据えました！

環境対策の他に、「多文化共生社会実現に向けて」、「選挙を通じての職員の意識改革、若年層の投票率向上」、「地域課題(カラス対策・学区域に沿った柔軟な町会運営)」についての質問も行いました。 ※質問ダイジェストは次ページを！



1



2



3

1 5回目の一般質問。今回は良い答弁を引き出そうと努力。一年前よりは大幅引き締まった顔つきになってきました。

2 新潟県新潟市と佐渡市を視察。バスを活用した街づくりなど、先進的な交通政策については特に注目に値した。
(2009年5月14・15日)

3 くまき都議の事務所開きにて。田中やすのりが頑張ろうの声援を行う。
(5月24日)

田中やすのりの
要望が実る！

板橋が
変わる



区税、保険料などの納付が コンビニエンスストアで可能に！

同時に税負担の公平性の観点から、悪質な滞納者を中心に「民間のコールセンター」を活用した徴収策の強化も実現！

平成21年度分の特別区民税、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料および軽自動車税が、全国のコンビニエンスストア

のどこでも納付が可能になります。曜日や時間を気にせず、いつでもお支払いが可能になり、区民の利便性がアップします。もちろん、今まで通り区役所、区民事務所、銀行、郵便局などでの納付も可能です。2008年11月の板橋区議会の一般質問で取り上げた提言が実現し、うれしく感じています。これからも一步一步、夢を実現していきます。「夢を拓こう！さあ、一緒に！」

やすのりの主張

一般質問:2008年11月27日にて

主張
①

平成19年度の区民税滞納額は約30億円。税の公平性から徴収対策を強化すべき。民間のコールセンターを活用して早急に体制を強化するべきでは？

主張
②

コンビニ収納と納付勧奨のタイミングをうまく連動することによってより高い効果を実現を望む。

一般質問

2009年
第2定例議会

ダイジェスト①

質問①

環境対策について ~CO₂削減に向けて

Q

「地球温暖化」ではなく「地球高温化」のフレーズの使用を。「地球高温化」という言葉の響きから差し迫った危機感を伝えるのと同時に、板橋区の環境対策への本気度を伝えることもできるはず。

A

地球温暖化を地球高温化と置き換えて表現することで危機意識を啓発する取り組みは承知している。しかし、環境省などにおいては地球温暖化が使われていることから、地球高温化はケース・バイ・ケースで使い分けるようにしたい。

<田中やすのりの所感>



必要に応じて是非ケース・バイ・ケースで「地球高温化」を使用することで、危機感を高めながら有効性の高い施策を展開してほしい。

Q

現在の区の庁有車は19台。その内次世代型のハイブリッド車は4台。庁有車のすべてを次世代型のエコ自動車に切り替えていくという方針を早期に示すべき。いつに切り替えるかの時期の目標も立てるべきではないか？

A

次世代型エコ自動車に限らず、低燃費仕様の自動車を導入している。今後も環境にやさしいものの導入を進めていきたい。

<田中やすのりの所感>



既に導入していることは評価に値するが、もっと踏み込んだ導入を期待している。環境先進自治体と言われている板橋区の名に恥じない施策推進を望む。

Q

区内の街路灯や公園灯を省エネ型・新エネルギー発電型への早急な切り替えを求める。その設置予定数と設置時期等を明確にしていけるべきでは？

A

LED型や新エネルギー型発電の照明器具は改良が進んでいる。しかし現時点では全面的に普及させるだけの性能はないと考えている。今後も改良等の変化の把握に努めて対応をしてきたい。

<田中やすのりの所感>



千代田区などの自治体では既に積極的に設置を進めている。国の補助制度などを活用しながらなるべく早い設置普及を期待したい。

Q

区民や区内事業者のCO₂削減への活動を継続させていくために、どのくらいCO₂を削減できているかを実感させることが大切。埼玉県はCO₂がどのような工夫でどれだけ削減できるのかを「見える化」したハンドブックを作成した。区も啓発ツールを充実するタイミングではないか？

A

日常生活の様々な場面での具体例を挙げて、分かりやすく解説をしながら具体的な行動に結びつける環境啓発パンフレット(仮称エコチェックガイド)を2009年度中に作成する予定。

<田中やすのりの所感>



是非埼玉県のパンフレットよりもCO₂の削減効果が分かりやすく見えるものを作成していただきたい。今後は作成したパンフレットをどう活用していくかについても提言をしていきたい。